

【警告】

〈使用方法〉

- 1) 本品は、医師又は他の医療専門家による指示を受けた資格を持つ救急医療従事者のみが使用すること〔患者の状態、状況、他の要因により本品の使用方法が異なったり、使用できない場合があるため〕。
- 2) 酸素ポンベのバルブを開く際は、必ず本品がポンベに確実に接続されていることを確認してから、ゆっくりと完全に開くこと〔断熱圧縮によって生じた熱により発火する危険性があるため〕。
- 3) 酸素ポンベのバルブを開く際は、圧力ゲージから顔を離し、正面に立たないこと〔万一破損した場合に事故を防ぐため〕。

【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

- 1) 本品は火気のそば又、酸素欠乏空気中では使用しないこと。本品にオイルを使用したり、引火性物質のそばで使用しないこと〔本品は、酸素を含む圧縮された医療用酸素で作動するので、引火又は爆発を誘引する恐れがあるため〕。
 - 2) 本品を石油類又はグリズに近づけないこと。炭化水素が付着した場合には直ちに使用を中止し、資格を持った技術者によるクリーニング、試験を行うこと〔自然発火する恐れがあるため〕。
- 〈併用医療機器〉詳細は【使用上の注意】の〈相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）〉を参照のこと。

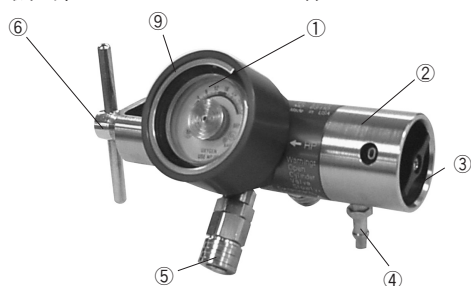
＊ ＊ 1) 本品はMRI非対応型（MR Unsafe）であり、MR検査は禁忌とする。

【形状、構造及び原理等】

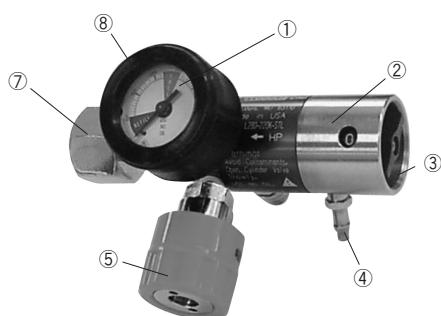
＊ 〈形状・構造〉

L370-220M-R-STL LSP減圧弁 ヨーク型プロテクタ付
 L280-220K LSP減圧弁オールブラスタイプ ドイツ型、川重付

■LSP減圧弁 ヨーク型 プロテクタ付



■LSP減圧弁オールブラスタイプ ドイツ型



〈寸法及び質量〉

名 称	寸法(mm)		質量(g)
LSP減圧弁オールブラスタイプ ドイツ型	ボディ	(横)145×(直径)38	900
	圧力ゲージ	(横) 30×(直径)45	

名 称	寸法(mm)		質量(g)
LSP減圧弁 ヨーク型 プロテクタ付	ボディ	(横)155×(直径)38	900
	プロテクタ	(横) 25×(直径)50	

機器作動用アウトレットを除く。

寸法許容差:±10%

〈名称及び機能〉

番 号	名 称	機 能
①	圧力ゲージ	1 次側のガス圧力を表示する
②	ボディ	本体の外装となる部分
③	流量計用ダイヤル	2 次側のガスの流量を設定するために用いる
④	定流量アウトレット	流量計用ダイヤルで設定された流量のガスが排気される
⑤	機器作動用アウトレット	減圧された定圧力を使用するために用いる
⑥	T字型ハンドル	ヨーク型ポンベと固定するために用いる
⑦	ボンベ取付部	ドイツ型ポンベと固定するために用いる
⑧	ゲージカバー	圧力ゲージを保護する
⑨	プロテクタ	

〈原理〉

本品は、高い変圧を低い圧力に減圧して、機器作動用アウトレットに接続された機器に低定作動圧力を供給する。また、流量計用ダイヤルで設定した値の定流量ガスを定流量アウトレットから供給する。

【使用目的又は効果】

〈使用目的〉

高い変圧を低定作動圧力に低下させる。

【使用方法等】

〈準備〉

1. ボンベバルブを開く前に安全な方向に向けます。本品を酸素ポンベに取り付ける前に、短時間バルブを開き、本品との接続部に付着したゴミ、ホコリを吹き飛ばしてください。
2. 流量計ダイヤルを回し、0 (OFF)の位置に設定してください。
3. 酸素がリークしないよう、ヨーク（又はドイツ）パッキンがインレット・システムに合わさっていることを確認してから酸素ポンベに接続してください。
4. ヨーク型の場合は、本品のT字型ハンドルを手で回して、酸素ポンベに接続してください。工具を使用して締めると本品が損傷する恐れがあります。
5. ドイツ型の場合は、本品のボンベ取付部をスパナで回して、酸素ポンベに接続してください。
6. 接続後、パッキンから酸素漏れがある場合は、新品のパッキンと交換してください。

〈使用方法〉

1. 酸素ポンベのバルブをゆっくりと開いてください。
2. 圧力ゲージの示す数値で酸素残量を確認してください（内部の圧力は、酸素残量に比例します）。
3. 圧力ゲージが3.4 MPaになると実質的に空になります。使用前に酸素の残量が十分であることを確認してください。
4. アウトレットにモニター等接続してください。
5. 酸素流量計を使用する場合は、定流量アウトレットに酸素マスクのチューブを接続し、流量計ダイヤルを回して流量を設定してください。

〈使用後〉

1. 本品を消毒液を染み込ませた布等で清拭してください。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 1) 供給源には医療用酸素以外使用しないこと。

- 2) 使用前に必ず酸素ボンベ残量が十分であることを確認すること。酸素が不足した場合には、患者に安全な状態で酸素ボンベを交換すること。
- 3) 本品及び患者に異常がないことを絶えず監視すること。異常が認められた場合は、患者が安全な状態で本品を止め、修理を依頼する等適切な措置を講じること。
- 4) 酸素ボンベに本品を取り付ける際は締め付け過ぎないこと [Oリングを使用しているので、シートパッキンのように過度の締め付けは必要ないため]。
- 5) 使用後は必ず酸素ボンベを閉め、圧力ゲージの残圧を抜くこと [圧力ゲージに負荷を掛け続けると故障の原因となるため]。
- 6) 本品を酸素ボンベから外す場合は、酸素ボンベのバルブが完全に閉じていること (時計回りに完全に回した状態) を確認すること。又、圧力ゲージが0 (ゼロ) を示していることを確認すること。
- 7) 使用しないときは、アウトレットに保護キャップ等をする [ゴミ、ホコリが入る可能性があるため]。
- 8) パッキンを2枚 (以上) 重ねないこと。パッキンは純正品を使用すること。
- 9) 密室での換気を良くするよう絶えず配慮すること。
- 10) 本品が汚れていたり故障している場合は使用しないこと。
- 11) パッキンが損傷している場合は、使用を中止し、純正品と交換すること [他社の製品を使用すると正常に作動しなくなり危険なため]。
- 12) 修理保守に関する訓練・教育を受け、これらの作業に関わる許可を得ている者以外は、本品の修理、保守は行わないこと。

〈相互作用 (他の医薬品・医療機器との併用に関する事)〉

※ * 1. 併用禁忌 (併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
MRI	使用しないこと。	強磁場では吸引事故の危険性があり、画像アーチファクトや正常に機能しなくなるおそれがある。

〈不具合・有害事象〉

本品の使用に際して、以下のような有害事象が発生する可能性がある。

1) その他の不具合

※ * ・アウトレットの変形、破損

2) その他の有害事象

本品の使用に伴い、以下のような有害事象が生じる可能性があるため、患者の状態を十分に観察し、異常の恐れが生じた場合は、直ちに適切な措置を施すこと。なお、以下は代表的な有害事象であり、すべてを列記するものではない。専門書・研究発表等も参考にすること。

・引火・断熱圧縮による発火、爆発。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

本品を保管するときは次の事項に注意すること。

- ・水濡れ、直射日光を避けて保管すること。
- ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所で保管しないこと。
- ・保管時 (運搬時含む) は、過度な振動・衝撃等に注意すること。

〈保管条件〉

温度: -28℃~48℃

湿度: 10~95% (ただし結露なきこと)

〈動作保証条件〉

〈動作条件〉

使用温度: -34℃~51℃

相対湿度: 10~95% (ただし結露なきこと)

〈耐用期間〉

定められた保守点検を実施した場合、5年 [自己認証 (当社データ) による]。

【保守・点検に係る事項】

自然発火の恐れがあるので、清拭は炭化水素の残留してない場所で行ってください。

〈使用者による保守点検事項〉

- ・本品の性能を維持するため、点検を最低2ヶ月に1度は行ってください。
 - ・保守点検をする際は、感染防止のためグローブと保護カバーの装着をお勧めします。
 - ・修理は正規の代理店に依頼し、絶対に本体を開けたり、改造しないでください。
- リーク試験
- ・パッキンにひび割れ、損傷等異常がないことを確認してください。

異常が認められた場合は、新品と交換してください。

- ・インレット・ステムの取り付け状態を確認してください。
- ・本品を酸素ボンベに接続し、流量つまみが0 (ゼロ) になっていることを確認して (酸素が漏れない状態にする)、バルブを開きます。
- ・石鹼水等のリーク検出液を使用して、圧力ゲージ、アウトレット及び各接続部にリークがないことを確認してください (リークしている場合、そこから泡が出ます)。リークがある場合は、代理店へ修理依頼してください。
- ・バルブを閉じ、圧力ゲージの指示圧力の低下割合が90秒で690 kPa以上でないことを確認してください。これ以上の指示圧力の低下がある場合は修理が必要です。代理店に修理依頼してください。

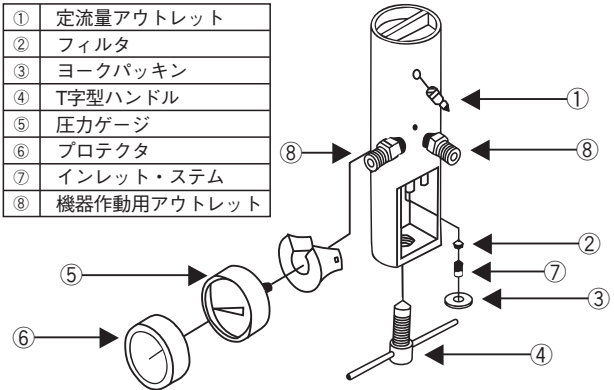
〈業者による保守点検事項〉

保守・点検項目	実施頻度	保守・点検内容
定められた点検項目すべて	1回/12ヶ月	弊社による機能、性能、安全性の試験検査及び定期交換部品の交換。

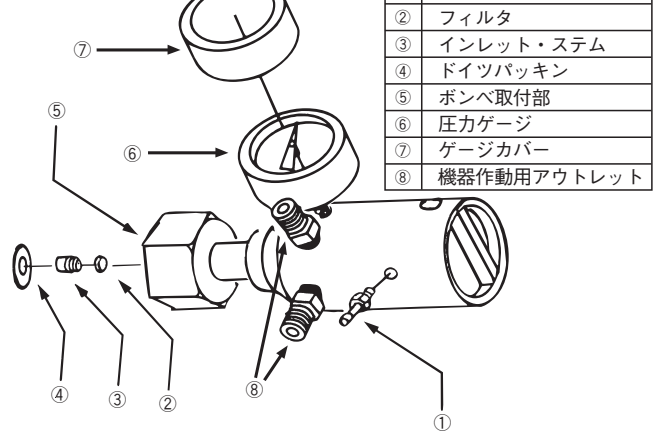
〈清拭及び消毒〉

1. 本品を消毒液を染み込ませた布等で清拭してください。
2. 各部を注意深く観察し、ひび、傷のある場合は代理店に修理依頼してください。

●ヨーク型 プロテクタ付



●ドイツ型



注) モデルによって⑧の形状に相違があります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

※ * 〈製造販売業者〉

smiths medical

スミスメディカル・ジャパン株式会社

<https://www.smiths-medical.com/ja-jp>

* 〈問合せ先〉

フリーダイヤル 0120-582-855

〈製造業者〉

アライド ヘルスケア プロダクツ, Inc.
Allied Healthcare Products, Inc.

〈国名〉

アメリカ合衆国